

第 4 回震災復興会議要旨

話 題	内 容
居住地	<p>磯地区では 17 戸が高台で健在している所もありますが、ライフラインがない状況です。これも含めて全体としてどう考えていますか。</p> <p>[町からの回答]</p> <p>電気・水道・下水道ともライフラインの復旧見直しがたたないという状況で、9月から一部、花釜海岸の仮堤防の復旧に合わせて、避難指示を解除します。南側については、防災無線の復旧を待ちながら解除について検討していく流れの中で、ライフラインの復旧を進めていく予定です。</p>
	<p>新居住地の新坂元駅周辺は、地盤が良くないので居住地にしていくにはどうなのかなと感じます。</p> <p>[町からの回答]</p> <p>居住区域の開発エリアは、いくつかの候補地を調査しながら、土地利用構想案にたどりついてきたところです。現在、被災者の方々のアンケートを実施し、住まい方（戸建、公営住宅）などの希望を聞いているところです。</p>
J R 常磐線	<p>新しい J R 常磐線のルートは 5 m 浸水地域を通る案になっておりますが、新地町との調整をした案なのでしょうか。</p> <p>[町からの回答]</p> <p>J R は新地町の方で計画しているルートとすり合わせをしています。また、ご心配されている浸水 5 m の箇所では、高架式での対応を J R 側へ要請していく考えです。</p>
	<p>山側に変更するのは分かりますが、仮に 10 年もかかるようなら山側に変更するのではなく、現位置での仮設復旧もあるのではと思います。</p> <p>[町からの回答]</p> <p>まず、今日で 4 回目の会議で色々な方々が協力しながら順を追って作業を進めてきていることは理解ください。また、J R も国・県を交えて検証して、みなさんが考えている現状復旧は難しいとのことです。</p> <p>J R の復旧は整備された所が交通結節点になります。現在は、亘理駅がその役目を果たしており、朝の 7 時～8 時頃はかなり渋滞（バスピーク時は 10 台以上、同時に自家用車も流入）しており、J R ではこれ以上の広さが欲しいといわれています。南伸した場合、浜吉田駅は無理、山下駅も広さが確保できないため、規模条件が整わなければ暫定供用もできないとのことです。</p>

	<p>実際にかかる整備日数を教えて欲しいです。また、亘理駅でバス乗降と いったような分担にすれば、もっと短期間で整備できるのではないで しょうか。</p> <p>[町からの回答]</p> <p>工期ですが、J Rから正式な回答が届いているわけではありませんが、 以前の情報では全線含めて事業が始まれば3年で可能ということでした。 また、J Rとしては整備した最南端の駅で代行バスを運行するル ールは変えないとのことですので、ご理解ください。</p> <p>震災なので交渉次第でなんとかなるのではないのでしょうか。</p> <p>[町からの回答]</p> <p>J Rとしては、折り返しが可能で、交通結節点としての機能を十分に果 たせる条件が整っていなければ整備できないとのことですので、ご理解 いただきたいと思います。いずれ、J Rとの調整の中では、まずは山元 町に駅が設置されることが大事であるという視点で段階的な整備も視 野に入れて調整を進めていきたいと考えています。</p> <p>新しいルートで駅を作った時、町としては何年で作ろうと思っているの ですか。</p> <p>[町からの回答]</p> <p>建設期間3年ということしか決まっていますが、用地買収が一番の鍵 であり、今お答えできるとすれば、早くルートを決定して速やかに用地 買収をできるように急ぐということしか現時点ではお伝えできません。</p>
道路網	<p>県道ルートですが、今回の津波の被害が大きい地域のほうが海に近く、 被害が比較的小さい地域のほうが遠いというのが不可解です。</p>
農業	<p>ストロベリーライン沿いに農地が設定されていますが、「いちご振興会」 では、いちごを作り続けたい農家が多く、代替地を用意してほしいとい う意見が多数あります。現状の面積相当分の代替地を用意してもらえれ ば、早めにいちご作りが進められると考えており、早期に整備をお願い したいと考えています。</p> <p>[町からの回答]</p> <p>有識者会議でも示した防災緑地の考え方の中で、人も住めない、すべて が防潮林になってしまうのではないかと町民に受け取られているよう に把握していましたが、農地の部分は引き続き農業を続けていただく区 域として示したところでした。県道ルートの調整により、災害危険区域も 固まると考えています。年内には災害危険区域の指定を行いながら、具 体的に個別の方々の調整を進めていければと思っています。</p>

	<p>農家も働く場もなく、高齢化の課題もあり、町が農地の集約化をどう考えているかが気になります。</p>
教育・子ども	<p>まちを明るく、人口減少から増加させていくために小中学校の子どもたちにも将来の山元町の思いを聞いてみるのが良いと思います。</p>
	<p>立派な、地震で壊れない保育所を、中央の役場近くに1ヶ所整備して欲しいです。</p> <p>[町からの回答]</p> <p>保育所の関係は、現在3ヶ所のうち、2ヶ所が被災しており、小学校も含めた再編など子育て施設の充実を図っていかねばならないと思っています。</p>
まちづくり	<p>加工、地産地消、人が集まる癒しの場所、明るいまちづくりを望みます。山元町のカラー（りんごといちごの中間色でサーモンピンクなど）を統一して、山元町のブランド化を図っていくのも良いのではと思います。</p>
	<p>住んでいる場所の標高が判るような道標があると良いと思います。</p> <p>[町からの回答]</p> <p>常に住まいがどの標高にあるかを知りながら行動することは大切だと思いますので、工夫をしていきたいと思っています。</p>
	<p>新山下駅、新坂元駅、医療福祉地区でまちづくりを考えられています。宮城病院を核とする場所が一番重要な場所ではと思います。福祉施設を充実して欲しいです。</p> <p>「山元町らしさ」の存在理由を明確にして、魅力あるゾーンをつかっていってほしいです。この際、基本方針の柱に山元町らしさづくりを加えてほしいです。</p>
土地利用	<p>買収だけでなく、代替もあわせてお願いしたいと考えます。また、被災者としては1円でも高く買取りしていただきたい。</p> <p>[町からの回答]</p> <p>現行制度の中で、移転者の負担を極力減らせる検討を進め、その要請もしていきたいと考えています。</p>
	<p>集団移転に関して、宅地と農地で金額に違いがあるかどうか教えてください。</p> <p>[町からの回答]</p> <p>集団移転時の買収の評価単価ですが、現況利用に合わせてとなりますので、宅地と農地の金額は変わるということでご理解ください。</p>
住民参加	<p>住民意見の集約についてですが、説明会が行政区ごとに行われると思いますが、その時に初めて説明されて意見を求められても住民の方々は意</p>

	<p>見を出せないと思いますので、若い世代からの意見をどこで聞けるか、どのように聞いていくのかなどを教えてください。</p> <p>[町からの回答]</p> <p>パブリックコメントと並行して、住民意向調査をはじめ、町内で活動する団体、子育てサークル、ボランティアサークルなどから意向を伺っております。必要に応じて、若い世代の方を含め、町民の皆様の意向を伺う機会を取り入れていきたいと考えています。</p>
復興計画の策定	<p>他の場所へ引っ越してしまうことを食い止めるため、確実に住民の意見を取り入れた復興計画をまとめていただきたい。町民の目線で、町民の立場に立って、復興計画を作っていただきたい。</p> <p>[町からの回答]</p> <p>行政が意向調査をしながら案として示し、少しずつ成案に近づけていく手法は基本的には踏襲しています。通常と違うのは、平時であれば1年、2年かけるようなところを、短期に取り組みなければならないということです。このことを共通に認識しなければならないことをご理解いただきたいと思います。</p>
防災・減災	<p>防災マップの中で避難所が示されていますが、坂元地区の坂元小学校は実際には使えませんでした。将来どう考えていくのかが気になります。</p> <p>各避難所に防災無線、ラジオが聞けるような整備をお願いしたいです。また、避難ルートでは、防災無線が聞けるような設備の設置をお願いしたいです。</p>
その他	<p>人口減少に伴う町の増税とか、水道代値上げとか、山元町に戻ってきてもこれからの心配であると思っている方も多いようですので、将来どうなるか判れば聞かせてください。</p> <p>[町からの回答]</p> <p>公共料金の懸念については、全体計画の中で今後示していくこととなります。仮設住宅、ガレキ撤去は災害救助法に基づいて実施していますので町負担はありません。また、ガレキの二次処理も環境省の補助事業を活用して町負担が少なく取り組むことができます。</p> <p>大きいスーパーを1ヶ所、宮城病院の近くに整備して欲しいです。</p> <p>スマートICは、山側の開発や農業にも大いに役立つこととなるので実現できれば良い計画だと思います。</p> <p>仮設住宅は、色々な形で支援を受けているが、被災された方以外の独居老人への対応も考えて欲しいです。</p>